

笠間市社会福祉協議会大旭支部
発行 大旭支部長 菅原 毅
編集 大旭支部広報委員会
発行日 平成28年3月31日
印刷 有限会社大塩企画

おおあさひ支部報

地域の力を集めて ふれあい食事会

春の訪れが近付きつつある
3月13日に、社会福祉協議会
大旭支部主催「ふれあい食事
会」が開催されました。

会場の笠間市友部社会福祉
会館には、大旭支部地域にお
住まいの80歳以上の高齢者65
名が、出席されました。

この食事は、支部役員・
女性部（渡辺米子部長兼にし
の会会長）をはじめ、支部内
の行政区长、民生委員ならび
に、社協ボランティアの皆さ
んの協力を得ながら、支部を
あげて毎年開催しています。

開会は、小野武副支部長の
司会で始まり、主催者の菅原



きつね踊り



チンドン屋さん

毅支部長から「100余名の
方々のご協力で、ふれあい食
事会を開催することができま
した。春のひとときを、お楽
しみ下さい」と、あいさつが
ありました。

来賓の、山口伸樹笠間市長
からは「大旭支部のふれあい
食事会で、地域が元気づけら
れています。笠間市は、市制
10周年を迎えました。課題を
解決しつつ、安心できる街づ
くりを進めます」また、小池
和夫笠間市社会福祉協議会次
長からも「本日のつどいを楽
しんで頂き、末永く元気で
お過ごし下さい」と、それぞれ
に祝辞を頂きました。

続くアトラクションでは、



衣装替えのお手伝い

笠間市社会福祉協議会ボラン
ティアの皆さんから、数々の
演技がお披露目されました。
野菊の会の皆さんからは、
きつね踊り（独演）と、
ひよっとこ踊り（共演）が披
露されました。
なかでも、ひよっとこ踊り
には会場からの飛び入り参加
もあって、楽しみが一層増し
ているように感じられました。

小松崎美恵子さんの演じる
演芸は、チンドン屋の鉦や太
鼓のにぎやかさ・いろいろ売
りのお目出度い口上・南京玉
すだれの造形の妙が、次々と
披露されました。
演目のあいだの衣装替えて
は、場内からお客さまがお手
伝いとして出演され、ふたり

食後には「音楽の友アンサ
ングルY&K」の懐メロで、
若き時代を振り返りました。
お客さま方は、記念品（ド
レス型タオル掛け 女性部員
の手編み品）を手にして、帰
途につきました。



◀ドレス型タオル掛け



お弁当▶

太陽子ども会

県球技大会ベスト8

昨年9月13日、笠間市民体育館で、第12回茨城県子ども会ドッジボール大会が開催され、県内市町村大会を勝ち抜いた、代表31チームが出場しました。

笠間市から参加した太陽子ども会（大沢下地区）は、出場枠2チームの1チームとして出場しました。

開会式で行われた選手宣誓では、太陽子ども会の小野瀬さん兄妹（6年生）が、試合

に臨む決意をのべました。

試合は、午前の予選リーグ戦として、8グループに分かれて5分間1セットマッチを行い、太陽子ども会チームはこれを、接戦の末に勝ち抜きました。この戦いは、短い時間のうえに、試合後の内野人数を競う方式で、大変厳しいものでした。

これに続く午後の決勝トーナメント戦は、どのチームもレベルが高く強豪揃いで、ドッジボール少年団で鍛えられている様子を、伺わせる選手も数多く見受けられました。

一方太陽子ども会は、堀江監督のもとで選手の皆さんが和やかな雰囲気と、勝利を目指す強い気持ちと併せ持つチームに、まとめあげられているように見られました。

これらの成果は、試合の経過とともにチームワークの高まりに表れて、好プレーの連続につながり、ベスト8の見事な好成績となりました。

このことは、チームの皆さん方の良い経験として、長く心に残るものと思います。

その一方、観客席では大勢

の保護者の方々と、友二小の森田正男校長先生も一緒に、厳しい試合を勝ち上がってゆく選手の姿に、惜しみのない声援を送っていました。

おわりに、保護者からのお礼の言葉を、お伝えします。「今回の成果は、地域の方々から児童が温かく見守られている証と、感謝しています。今後とも児童の育成に、お力添え頂きますよう、お願いいたします。」

選手の皆さんと、関係者ならびに保護者の皆様、大変おめでとうございました。

地域ぐるみで防災を

旭台団地4区自主防災会

自分たちの地域は、自分たちの手で守ろうと、旭台団地4区（青木清区長）では、平成24年9月23日、自主防災組織を立ち上げ、毎年消防署や

日本赤十字社茨城支部などの指導を受け、防災総合訓練を実施しています。

子どもたちと消火訓練



同区の自主防災会（会長は区長が兼務）は、自助・共助

をテーマにしながら活動を活発に促進し、全世帯が家族はもちろんのこと、地域の安心を守るため積極的に参加、日頃からも住民同士のコミュニケーションを図っています。

組織は、避難誘導班（家庭への避難呼びかけ）、情報班（行政などからの情報）、消火班（消火活動）、救出救護班（ケガ人やAEDなどの使い方など）、給食給水班（炊

き出し）の5つで組織しており、いつでも活動できるような体制が整い、日頃から住民

同氏の防災意識が高く、住民からの備えについて相談があれば、会として全面的にバックアップもしており、防災知識の普及は勿論のこと、連帯感が強いことが何えました。

また、自主防災組織としては、先進的な会運営として、他地域から見学に来たり、相談があれば指導などの活動も行っています。

心肺生法を学ぶ



好成績を取めた太陽子ども会





2月8日、笠間市民間交番「あさひ」を訪問し、開設から約2年半たった現在の活動の様子を、笠間市民間交番「あさひ」セーフティサポーターの小林厚雄さん（笠間警察友会会長）に伺いました。

**安全で
安心な町づくり**
民間交番「あさひ」

活動内容を小林会長左に伺う



勤務体制は、平日が笠間警察友会、土・日曜日が笠間市防犯連絡員協議会友部支部が、担当しています。
活動としては、交番での立番や青色パトカーによる巡回、警察署との連携を通じて、児童・生徒の安全見守り、地理案内、不審者情報に基づき警戒、団地や地域の警戒…等を行っているとのこと
です。

友部第二小学校（森田正男校長）では、3月8日「地域の方に感謝する会」を同校体育館で開催されました。
全校児童が参加するなか、地域のボランティアの方々が入場、児童が開会を宣言、森田校長先生が「地域の方々の見守り活動ありがとうござい
ます。40人以上のボランティアの方々が見守ってください
ています。皆さんの心には、

**安全な通学路へ
友二小で感謝する会**



民間交番ができてから、事件・事故・犯罪等が減少し、公園で子どもと過ごすお母さん方からは「パトカーで巡回し見守ってくださいるので、安心して過ごすことができる」

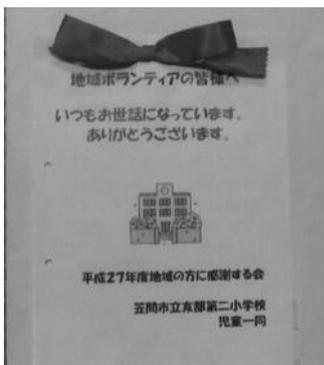
との声も多く届いています。装備面の不足、勤務員の補充：等の課題はあるが、民間交番の皆さんの活動によって、地域の安全・安心が保たれていると実感しました。

活発な意見交換



交通事故はゼロでなければなりません。児童の皆さんも気を引き締めて、元気な姿を見せていき、感謝の気持ちを表してください」とあいさつがあり、児童代表から作文の発

児童からのお礼の手紙



表、全校児童からお礼の手紙や校歌のプレゼントがありました。
地域の代表として、菅原毅社会福祉協議会大旭支部長は「登下校の安全のため、見守り活動をしています。これからも安全・安心を心がけボランティアを続けてまいります」と、感謝の言葉を述べました。
また、校長室で開かれた意見交換会では、通学路についていろいろな意見が出され、通学時に速度の速い車や、犬のフンが多くみられること、側溝のふたが高くなっているところがあり、子どもたちがつまづいてころんでいるところを度々見ていることなど、通学路についてさまざまな意見が出されていました。

平成27年度 大旭支部会員会費報告

地区名	法人	特別	一般	会員	合計
矢野下藤株	0	0	18	18	18,000
矢野下下郷	0	1	76	77	79,000
大沢上1	0	2	93	95	99,000
大沢上2	0	2	52	54	67,000
大沢上3	0	1	55	56	60,000
大沢下1	10	12	94	116	187,000
大沢下2	0	3	115	118	125,000
八幡台1	0	2	64	66	70,000
八幡台2	0	1	84	85	87,000
原団地	0	0	46	46	46,000
清住町	0	0	60	60	60,000
若狭山	0	5	36	41	51,000
旭台	9	3	146	158	187,000
旭台団地1	0	0	64	64	64,000
旭台団地2	0	1	58	59	61,000
旭台団地3	0	0	58	58	58,000
旭台団地4	0	2	28	30	34,000
旭平1	1	0	200	201	203,000
旭平2	9	2	83	94	118,000
旭平団地	0	0	38	38	38,000
旭崎1	4	5	133	142	168,000
旭崎2	0	0	32	32	32,000
緑ヶ丘団地	0	0	17	17	17,000
サステージ	0	0	19	19	19,000
矢野下本郷	0	0	8	8	8,000
アクシズタワー本郷	0	0	0	0	0
合計	33	42	1,677	1,752	1,956,000

平成27年度会員会費の報告とお礼

今年度も左記のとおり、
 会員会費を頂くことが出来
 ました。これも皆様のご理
 解のたまものと心から厚く
 お礼申し上げます。

平成27年度の社会福祉協
 議会の会員会費の募集に際
 しましては、皆様の温かい
 ご理解とご協力を頂き心か
 ら感謝申し上げます。

なお、当支部への還元金
 は九十七万八千円が交付さ
 れることになりました。こ
 のお金は、大旭支部の事業
 に大切に活用させていただきます。

きますので、今後とも皆様
 方のご理解とご協力をお願
 い申し上げます。

広報委員を募集

大旭支部では、広報紙を年
 3回発行しています。仕事の
 内容は、企画・取材・編集な
 どの作業を通じて、支部の活
 動状況などを会員の皆様に報
 告することが主な事業です。

広報紙作成に興味のある方
 は、是非参加してください。
 連絡を、お待ちしております。

☎090 2547 1280

広報委員長 吉田正次

訂正

昨年12月27日発行の、本誌
 第107号に誤りがありました
 ため、訂正いたします。

(誤) 鷺見泉石

(正) 鷹見泉石

あとがき

3ページに掲載した、友部
 第二小学校主催「地域の方に
 感謝する会」での意見交換会
 の際に、提起された通学道路
 の危険箇所は、笠間市に改善
 を依頼の結果、3月10日に段
 差が解消されました。関係者
 に感謝いたします。